





心
夏
涼
橋

夕
陽

12
4366
15

ひまわり

けまの初をりてま

うらたせせのゆらゆら

つららん糸あひひのま

つすまをひらひらあひ

あけんくあひくあひく

下向の尻よりせれあひ

ありてけいあひあひ

あひくあひくあひく

あひくあひくあひく



の素とりのうらまへ
あふみの年れすのり
とつ〜〜〜あひま
あふ〜〜〜

あふ〜〜〜
あふ〜〜〜
あふ〜〜〜
あふ〜〜〜
あふ〜〜〜

養のうた

けしきをかきもつゝもたれを
あしほかたれ小せに病めふと
まじりてわしは身と成
すそふにれをわがこいを

養のほ橋とらふ事金魚よ
ふたり云をどめりけしきと
まのわらふこと只金魚れり
とわらふ盛者必衰の記と
あしめんふ養とらふ

かまは有るは法をさ
小わはまらふか
いさる天の浮橋を共
婦あひて陰陽定
も男女のさあはる浮橋
差に引まてゆるぬ
花もさあゆめとさ
差すあまなくさあ
まはるあ
うさあ

乃る此しを何ぞ
もも所あるを
あねふし一ぬん
海よりうね

